

(専門分野Ⅱ)

授業科目	精神看護学方法論Ⅱ	講師	外部講師	実務経験	単位数				
				○	1				
学習目標	1.精神に障害のある対象の疾病、症状、問題の特徴を理解し、看護援助の方法を理解する。 2.診察、検査、治療法について理解を深め、治療的アプローチに必要な看護援助を理解する。			時間数	30				
				学年		2			
				時期		第2学期			
				回数		主 題	学習内容	授業方法	講師
				1		精神看護の専門性	1. 精神看護と精神科看護	講義	外部講師
2	精神科入院時の生活環境と安全に関する援助	1. 入院時の援助と入院環境の整備 2. 安全と事故防止 3. 行動の制限と援助	講義	外部講師					
3 4	患者家族の理解とその援助	1.患者家族の心理 2.家族の負担 3.家族の危機を乗り越えるための援助	講義	外部講師					
5 6	治療的アプローチと看護援助	1.電気痙攣療法における看護 2.社会療法における看護 3.環境療法における看護 4.診療に伴う看護 5.検査に伴う看護 6.薬物療法における看護 7.精神療法における看護	講義	外部講師					
7 8	統合失調症患者の看護	1.各健康段階における統合失調症患者の看護 2.妄想・幻覚状態のアセスメントと看護援助	講義	外部講師					
9 10	気分障害患者の看護	1.各健康段階におけるうつ病患者の看護 2.抑うつ状態、躁状態のアセスメントと看護援助	GW 講義	外部講師					
11 12	神経症・ストレス関連障害・身体表現性障害の看護	1.不安障害・神経症性障害 2.強迫性障害 3.適応障害 4.心的外傷後ストレス障害 5.パーソナリティ障害	講義	外部講師					
13	精神作用物質使用による精神障害の看護	1.アルコール症の看護	講義	外部講師					

14	児童期・思春期の主な精神障害患者の看護	1.精神発達遅滞 2.自閉症 3.アスペルガー症候群 4.注意欠如・多動性障害(ADHD) 5.摂食障害	講義	外部講師
15	評価	筆記試験		
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 精神看護学[1] 精神看護学[2]	精神看護の基礎 精神看護の展開